

都市の防災を考える

受講案内

今後想定される南海トラフ大地震やスーパー台風等の自然災害からどのように市民を守っていくのか、都市の防災をインフラの老朽対策の観点も含め、土木工学及び環境工学の学問内容とともに最新の研究や技術開発を紹介します。

| | | |
|---|---|---|
| 日 | 時 | 平成30年8月25日(土)、8月26日(日) 受付 9:45~ |
| 会 | 場 | 岡山大学 環境理工学部棟 1階 104 講義室 (岡山市北区津島中3-1-1) |
| 対 | 象 | 一般のかた (高校生以上) |
| 定 | 員 | 80人 |
| 受 | 講 | 料 無料 |

| 講義番号 | 講義月日 | 講義時間 (質問時間含む) | タイトル | 講師 |
|------|----------|------------------|---------------------------|------------|
| ① | 8月25日(土) | 10:15 - 11:45 | 地球温暖化の行方と自然災害への影響 | 准教授 岩田 徹 |
| ② | | 12:45 - 14:15 | 近年の水災害に関する課題と取り組み | 准教授 吉田 圭介 |
| ③ | | 14:30 - 16:00 | 地盤災害を考える | 教授 竹下 祐二 |
| ④ | 8月26日(日) | 10:15 - 11:45 | 大規模災害からの避難行動を考える | 准教授 氏原 岳人 |
| ⑤ | | 12:45 - 14:15 | インフラの老朽化とその対策 | 准教授 藤井 隆史 |
| ⑥ | | 14:30 - 16:00 | ブルーエネルギーを活用した災害に強い新しい国づくり | 准教授 比江島 慎二 |

各講義の詳細は裏面をご覧ください

●申し込み方法

- 受付期間 : 平成30年7月11日(水) ~ 8月1日(水)
- 申込方法 : 岡山大学ホームページからWeb申込み、申込書を郵送、持参※お電話での予約、申込みは出来ません
 ↳ 郵送…返信用封筒: 8 2円切手を貼り、返信宛先を明記したものを同封のごと (消印有効)
 ↳ 持参…9時~12時, 13時~17時の間にお越しください。(土・日・祝日を除く)
- 申込先及び : 岡山大学自然系研究科等総務課総務グループ (工学部1号館1階)
- 問い合わせ先 : 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
 TEL : 086-251-8005 e-mail : kikaku@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学 公開講座



平成30年度 岡山大学環境理工学部公開講座

都市の防災を考える 受講申込書

| | | | | | | | |
|------|---------|------|-----|----|-----------|--|---|
| 受講番号 | 氏名 | フリガナ | 性別 | 年齢 | 職業/学校名・学年 | 備考 | |
| | | | 男・女 | 歳 | | ※修了証書 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 | ※駐車券 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 |
| 現住所 | 郵便番号 〒 | | | | | | |
| | 電話番号 ☎: | | | | | メールアドレス ✉: | |

(注) 太枠の中のみ記入してください。(職業欄は、差し支えなければ記入してください。)
 申込者が多数の場合は、コピーしてご使用ください。
 ご記入いただきました個人情報につきましては、本講座の受講管理以外に使用することはありません。

◆各講義の詳細

| 講義番号 | 講義時間 (質問時間含む) | 講義タイトル／講師／内容 |
|----------|------------------|--|
| 8月25日(土) | | |
| 1 | 10:15～11:45 | ・「地球温暖化の行方と自然災害への影響」 岩田 徹 准教授 地球の気候システムの科学はどこまで進んでいるのか？今後、雨の降り方や顕著な現象にどのような影響を与えるのか？最新の気象技術はどこまで進んでいるのか？気候システムと気象現象、日常の監視技術と今後の社会のゆくえについて、質疑を交えながら紹介します。 |
| 2 | 12:45～14:15 | ・「近年の水災害に関する課題と取り組み」 吉田 圭介 准教授 近年、異常気象に起因する洪水や土砂災害が懸念されており、また近い将来、発生が示唆される南海トラフ巨大地震に伴う津波への対策が迫られています。本講義では、洪水や津波現象の学理、水災害への対策に関する課題、および本学で取り組んでいる研究事例について紹介します。 |
| 3 | 14:30～16:00 | ・「地盤災害を考える」 竹下 祐二 教授 本講義では、豪雨や地震時に多発している地盤災害(土砂災害や地盤の液状化など)について、地盤工学的な視点から解説します。 |

| | | |
|----------|-------------|--|
| 8月26日(日) | | |
| 4 | 10:15～11:45 | ・「大規模災害からの避難行動を考える」 氏原 岳人 准教授 来る南海トラフ巨大地震にむけて、どのような備えが必要か、避難時はどのような行動をとるべきか、本講義では、私たちの住む岡山をフィールドとした調査や解析結果等にもとづき、そのヒントを紹介いたします。 |
| 5 | 12:45～14:15 | ・「インフラの老朽化とその対策」 藤井 隆史 准教授 災害発生時、避難するためにも物資を運ぶためにも、道路や鉄道のインフラが果たす役割は大きいですが、しかし、そのインフラが老朽化によって使えなくなっている事例が発生しています。本講義では、インフラの老朽化の現状と、産業副産物を使った耐久性の高いコンクリートについて紹介します。 |
| 6 | 14:30～16:00 | ・「ブルーエネルギーを活用した災害に強い新しい国づくり」 比江島 慎二 准教授 原発による未曾有の災害や防衛上のリスクに対して、現在、再生可能エネルギー、特に海洋国家である我が国に眠る膨大な海洋エネルギーを活用する取り組みがなされています。本講義では、内外の海洋エネルギーの開発の状況や岡山大学で行っている潮流発電の研究などを紹介します。 |



岡山大学 アクセスマップ

岡山駅からのご案内

- JR岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番のりばから岡電バス【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車、「岡大西門」で下車(バス所要時間約10分)
- JR岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番のりばから岡電バス【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き、【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き、【36】系統「辛香口」行き、【86】系統「運転免許センター」行き
のいずれかに乗車、「岡山大学筋」で下車、徒歩約15分(バス所要時間約10分)
- JR岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番のりばから岡電バス【17】系統「御野校前・妙善寺」行き、【67】系統「榊原病院前・妙善寺」行き
のいずれかに乗車、「岡大東門」又は「岡大西門」で下車(バス所要時間約30分)
- 岡山駅運動公園口(西口)広場2Fタクシー乗り場から約7分
- JR津山線「法界院駅」で下車、徒歩約10分